

令和 8 年度 事業計画

シルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」という基本理念の下、地域に暮らす会員が、自己の経験や能力を活かし就業による収入を得るとともに、生きがいや仲間づくり・社会参加を促す仕組みを提供しています。

また、地元自治体や企業・家庭からの依頼に応じ対応することで、地域社会の担い手として事業を展開しています。

シルバー人材センターの規模を表す会員数は、組織市町村における社会的役割や貢献度を示す上で重要な数値ではありますが、当センターは、会員の高齢化等を要因とした退会者の増加、企業の定年延長や再雇用制度導入による入会者の減少により、年々減少傾向にあります。

令和 8 年度においては、会員の確保・拡大を目指し、入会説明会開催の他、組織市町村広報誌や地元新聞を活用した募集案内を継続する他、新たに草刈り・草取り・剪定作業に特化した人材確保キャンペーンを計画的に実施してまいります。

また、就業機会の創出を目的に、団体・企業向けチラシを地域別に作成し、役員や事務局による企業訪問を計画してまいります。

「墓地清掃事業」は市及び仏教会と連携してそれぞれの広報誌により周知を進めています。少子化や所有者が遠隔地のため墓地の管理ができない場合を想定し、茅野市の公営墓地と市内の頼岳寺・検校庵をモデルに「ふるさと納税のお礼品」として本年1月より募集を開始しています。

女性会員も担える仕事のひとつとして効果を期待しています。

シルバー事業の遂行にとって、基本である「安全で安心」な事業を展開することは不可欠であります。本年度においても「事故ゼロ」を目指して取り組みを進めてまいります。全国的にも高齢化を要因とした事故の発生が増加傾向にあるため、より具体的な取り組みが必要になります。

特に「草刈り作業における飛び石事故」は、全国的に多発している状況から、加入している賠償保険に影響が現れているため、各センターでは保険金額の増額や免責（自己負担額）の見直しが始まっています。

当センターでは、事故防止を前提に刈払機を扱う会員や新規入会者確保を視野に入れ、労働省が推奨している「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育実施要領」に基づき、刈払機や作業時に関する知識、事故の予防に繋がる専門知識の習得等「安全衛生教育カリキュラム」に沿った講習会を「岡谷下諏訪シルバー人材センター」及び「諏訪市シルバー人材センター」と連携し実施します。受講者には修了証の交付を行います。

以下、各委員会の事業計画を記述いたしますが、理事会・専門委員会・会員・事務局・関係機関との連携を更に強化し事業達成に向け取り組んでまいります。

1. 総務委員会

社会環境の変化に対応したセンターを目指し、「デジタル化と生涯現役」をキーワードに以下の事業を推進します。事業の推進に当たっては、理事会を始め関係部署と連携を密にして取組んで参ります。

- (1) 組織市町村長との懇談会を開催し、地域との連携、信頼関係の向上に努め、事業への理解と補助金の確保と共に就業拡大に取り組みます。
 - ① 組織市町村長との懇談会と担当窓口との情報交換。
 - ② 就業拡大への取組み。
- (2) 地域班長を中心とした地域に根差した会員活動の活性化を目指します。
 - ① 地域班を中心とした小集団の活動を支援します。
 - ② 合同地域班会議を開催し運営状況・中間事業報告と課題共有に努めます。
- (3) 就業先のCS(顧客満足)に努めます。
 - ① 役員(理事・監事)と事務局の連携による計画的な就業先訪問等を行い就業状況の把握や会員との意見交換を通じ、顧客満足・会員の意識向上・働きやすい環境整備の継続に努めます。
- (4) 生涯現役に向け「会員の健康づくりと安全」に係る事業を行います。
 - ① 全会員対象に健康と安全を目的とした『生活・安全講話』を開催します。
 - ② 生涯現役を目指し『新たな講座』を開催します。
- (5) デジタル化の対応を促進します。
 - ① 会員サイト「Smile to Smile」登録により、携帯電話(スマホ等)をお持ちの会員にホームページ・Smile to Smile・SMSを活用し情報共有に努めます。
- (6) ポイント制度を推進します。
 - ① 年間行事の出席や、会員紹介等へのポイントを累積化し、令和8年度より2年間で合計ポイント(100ポイント)を達成した方に商品券を贈呈します。
- (7) 会員主体の行事を応援します。
 - ① 会員交流、地域貢献を目指した小集団・グループ活動に助成します。
(地域班、職群班、独自事業班、奉仕活動、他グループ交流会等)

【 予算概要 】

単位:円

内 容	金 額
(1) 定期総会費用(議案書印刷費・会場費・表彰等)	850,000
(2) 地域班長会議、合同地域班会議(会場費・通知費用等)	200,000
(3) ポイント制度による記念品	400,000
(4) 講習会費用(生活・安全講話、健康イベント、会場費、講師謝礼)	250,000
(5) 会員企画による行事実施費用	80,000
計	1,780,000

2. 就業委員会

新規就業会員の拡大および新たな就業機会の創出を推進するとともに、会員が安全・安心でかつ意欲的に活動できる環境を整備することで、活気あるセンター運営と地域社会への貢献を目指します。

(1) 新規就業会員の拡大および退会会員の抑制

令和8年度 会員目標 600人

① 広報機能の強化

・広報誌、ホームページ、組織市町村広報媒体等を活用し情報発信の強化をします。

② 入会促進体制の充実

・入会説明会、個別相談会を定期的を開催します。

③ 「入会者紹介キャンペーン」の実施

・草刈り、草取り、剪定業務に特化した入会者紹介キャンペーンを展開します。

④ 未就業会員・退会会員対策の強化

・未就業会員、退会会員の理由分析を踏まえた改善策の立案・実施。

(2) 新規就業機会の創出と拡大

① 地域ニーズを踏まえた新規業務の開拓

・生活支援関連業務などの検討

② 連携強化による就業機会の拡大

・組織市町村、関係機関、民間事業者との連携推進。

③ 会員の技能を活かした多様な就業メニューの開発

・専門技能保有者の掘り起こし

・経験者(教員、技術者など)の活用検討

(3) 安心して意欲的に活動できる環境整備

① 安全と安心対策の充実

・草刈技能講習会

・庭木剪定講習会

・ハラスメント講習会

・マナー講習会

※「ハラスメント講習会」および「マナー講習会」については、総務委員会と連携し、企画・実施する。

② 就業環境改善の推進

・「2025年度就業環境アンケート」結果に基づく改善策の実施。

※アンケート結果を安全委員会と共有のうえ、課題の整理と対応策の検討を行う。

【 予算概要 】

単位:円

内 容	金 額
(1) 新規就業会員の拡大および退会会員の抑制	120,000
・ 会員募集に関する新聞などへの掲載費用(9月・3月)	120,000
(2) 新規就業機会の創出と拡大	40,000
・ 教員経験者との交流会	20,000
・ 調査、アンケート用事務費(年2回)	20,000
(3) 安心して意欲的に活動できる環境整備	60,000
・ ハラスメント、マナー講習会講師謝礼(年2回)	60,000
計	220,000

3. 安全委員会

令和8年度も『事故ゼロ』を目指します。

当 面 目 標 : 事 故 5 件 以 下

- ① 見直した安全就業基準の周知徹底を図り、安全意識の高揚と事故防止につなげます。
- ② 安全委員会を適時に開催し、会員の安全意識高揚と事故防止策等を検討し周知するとともに「安全確認シート・リスク確認シート」などを活用して事故削減につなげます。
- ③ 7月から10月を「安全就業強化月間」と定め、就業現場のパトロールと会員から安全標語の募集を行い、安全対策等の周知徹底を図ります。
- ④ 事故が発生した場合、事故の検証と原因の究明を行い、再発防止策を検討し会報等を通じて会員に知らせます。
- ⑤ 草刈り中の飛び石事故対策として、石飛軽減草刈り刃の販売・飛散防止ネット及び石が飛ばない安全回転バリカンの使用推進と、会員を対象とした草刈り講習会を開催します。
- ⑥ 運転業務会員で対象となる会員に、適性診断を行います。
また、全ての会員を対象として「運転時認知障害早期発見チェックリスト30」を配布し、セルフチェックを実施します。
- ⑦ 他の専門委員会との共催により、「健康・安全・就業」に関する講演会や、就業別の研修会について検討し開催します。

【 予算概要 】

○ 歳 入

○ 歳 出

単位:円

内 容	金 額	内 容	金 額
販売用草刈り刃収入	104,100	安全・適正推進大会費用	12,000
		販売用草刈り刃購入費	104,100
		草刈り会員対象講習会費用	160,000
		運転就業会員適正診断費用	220,000
		安全就業の冊子購入費用	22,000
		福祉車両講習会費用(R7繰越)	178,160
計	104,100	計	696,260

※長野県シルバー人材センター連合会 安全・適正就業対策推進委員会

令和8年度「安全・適正就業対策推進の重点目標」

目標 “危険ゼロ”

1. 安全ミーティングの完全実施
2. 安全装備使用の徹底
3. 健康診断受診及び健康体操の奨励
4. 交通事故防止
5. 安全・適正委員会、推進員による安全対策の点検と徹底による事故防止体制の確立

4. 広報委員会

シルバーの事業内容や活動を会報「八ヶ岳の風」により関係機関へ発信する事や会員の皆さんへ適切な情報の発信や会員の活動をかわら版「八ヶ岳さんろく便り」により紹介します。

- (1) 会報「八ヶ岳の風」第76号の発行をします。
紙面構成は以下のような記事を掲載します。
 - ② 各委員会と連携を取り、活動状況や就業上の注意事項などの掲載をします。
 - ③ 就業現場の紹介、話題や独自事業班の活動を紹介します。
 - ④ 地域公共施設や福祉施設へ会報の配布を行い、施設利用者や訪問者にシルバー人材センターの活動を紹介することにより、就業の拡大につながるようにします。
- (2) かわら版「八ヶ岳さんろく便り」を適時に発行して、シルバー人材センターからのお知らせや講習会・研修会・健康イベント情報や会員互助会活動等のお知らせをします。
 - ① 紙面構成として、会員の皆さんの話題や趣味、特技など身近な情報を幅広く提供いただき、会員同士が交流ができるような紙面とします。
 - ② 広報活動はもとより、広聴活動も重要なウエイトを占めています。
会員の就業活動内容の紹介や、就業先の声をいただき、会員の皆さんへ発信します。
- (3) 新入会員の拡大(特に女性会員の拡大)と就業先の拡大に向けシルバー月間に啓発配布活動ならびに団体企業向けのPR配布物を各委員会と連携して実施します。

【 予算概要 】

単位:円

内 容	金 額
(1) 会報「八ヶ岳の風」発刊 (年間1回:700部)	130,000
(2) かわら版「八ヶ岳さんろく便り」発行 (年間 2~3回 各 600部)	100,000
(3) シルバー月間啓発活動配布物 (各地区で実施 1,000部)	91,300
(4) 団体企業向け啓発活動配布物 (各地区団体企業 1,000部)	91,300
合 計	412,600